

インプレッサのリコールについて

平成21年11月12日

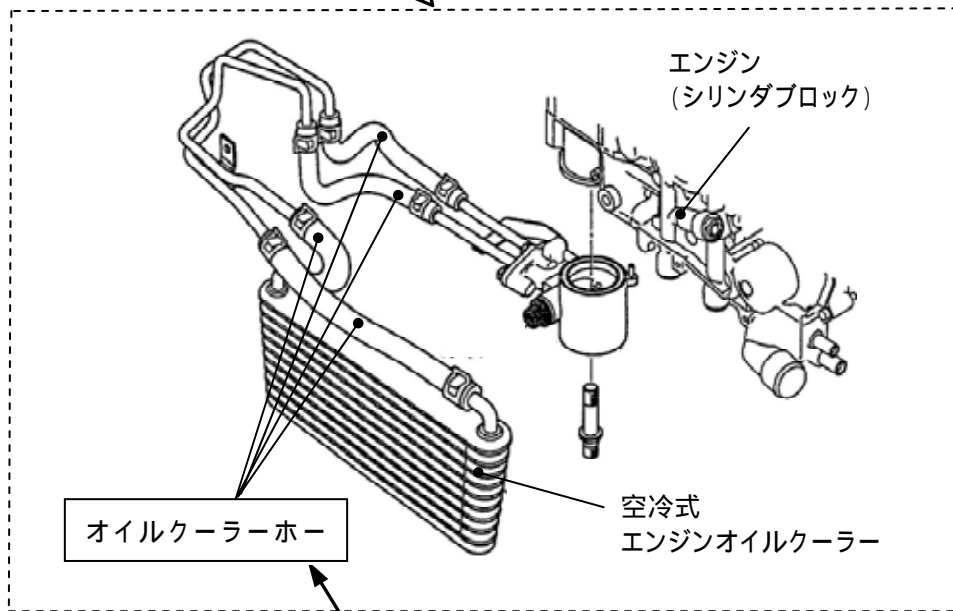
平成21年11月12日、富士重工業株式会社より、国土交通省にインプレッサのリコールを届け出いたしました。

リコール届出番号	2412	リコール開始日	平成21年11月12日
不具合の部位(部品名)	原動機(エンジンオイルクーラーホース)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	エンジンに備えられている、オイルクーラーホースの材質が不適切なため、使用過程でエンジンオイル内に蓄積する酸及び熱の影響によりホースが硬化、劣化し、ホース内面に微細亀裂が発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ホースの内圧及び振動により微細亀裂が進行し、ホース外面に貫通することによりオイルが漏れ、最悪の場合エンジンが破損するおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、オイルクーラーホースを対策品に交換する。		
不具合件数	10件		
発見の動機	市場からの情報及び国土交通省からの指摘による。	事故の有無	0件
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者:ダイレクトメール、直接訪問又は電話で通知する。 ・自動車分解整備事業者:日整連発行の機関誌に記載する。 ・改善実施済車には、運転席側ドア開口部のドアロックストライカー付近にNo.2412のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
スバル	GH-GDB	インプレッサ	GDB - 016006 ~ GDB - 042649 平成14年10月11日～平成19年 4月23日	3,907台	
	(計1型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成14年10月11日～平成19年 4月23日	(計3,907台)	

対象車の車体番号及び製作期間の範囲には、対象にならない車体も含まれる場合がありますので、詳しくは最寄りの販売店にお問い合わせください。

改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

エンジンに備えられている、オイルクーラーホースの材質が不適切なため、使用過程でエンジンオイル内に蓄積する酸及び熱の影響によりホースが硬化、劣化し、ホース内面に微細亀裂が発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ホースの内圧及び振動により微細亀裂が進行し、ホース外面に貫通することによりオイルが漏れ、最悪の場合エンジンが破損するおそれがある。

改善内容

全車両、オイルクーラーホースを対策品に交換する。

識別

対策品のエンジンオイルクーラーホースには、ホース表面にピンク色の識別マーキングが印刷されています。

注： は交換部品を示す。

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式(総排気量(cc))	備考
スバル	GH-GDB	インプレッサ	普通・乗用	箱型	EJ20(1,994)	